

3 指宿の農業を持続的に発展させる多様な担い手の確保・育成

3-1 指宿の農業を持続的に発展させる多様な担い手の確保・育成

成果の要約

- 1 モデル経営体の33戸を選定し、経営分析や技術診断を行い、経営改善を図った。また、農業経営基礎講座や個別指導等により、新規のパソコン複式簿記記帳者が7戸増えた。
- 2 新規就農者に対し、家族経営協定書の作成支援を行い、1戸が締結した。
- 3 新たに8件のスマート農業機器が導入された。また、「指宿露地野菜コンソーシアム」に参加し、支援を継続している。
- 4 女性農業者組織等を対象に研修会を通じた仲間づくりと経営管理等の情報を提供した。また、新たに女性農業経営士に1人が認定された。
- 5 AGRI 倶楽部指宿のクラブ員に対し、プロジェクト活動の支援を行った。また、組織活動として、先進地研修の実施や地元小学生に食農教育をする取組を支援した。

1 対象

- (1) 支援対象(モデル)経営体 33戸
- (2) 認定農業者 358戸
- (3) 認定新規就農者 21戸
- (4) 50歳以下の女性農業者及び女性農業経営士 51人
- (5) AGRI 倶楽部指宿 10人

2 課題を取り上げた理由

- (1) 地域農業の維持・発展を図るには、人・農地プランに位置づけられた中心となる経営体(認定農業者等)を、経営感覚に優れた経営体として育成する必要がある。
- (2) 指宿の農業を持続的に発展するためには、スマート農業等の革新的な技術を活用する必要がある。
- (3) 農業経営や地域活動等に積極的に参画する女性農業者を育成する必要がある。
- (4) 課題解決能力に優れた青年農業者を更に育成する必要がある。

3 活動の内容及び成果

- (1) ゆとりある経営を確立するモデル経営体の育成
ア モデル経営体の育成
モデル経営体33戸を選定し、対象農家の経営分析や技術分析を行い、経営改善を促進した。農業経営基礎講座や個別指導等により、新規のパソコン複式簿記記帳者が7戸増えた。また、9月に農業経営継承研修

会と個別相談会を開催し、法人化も選択の一つとして検討を始めた。



写真1 農業経営継承研修会

イ ゆとりある経営に向けた環境整備の取組支援

1組の夫婦間の新規就農者を対象に、家族経営協定の作成支援を行い、12月に指宿市及び指宿市農業委員会と連携して、家族経営協定が調印された。



写真2 家族経営協定調印式

- (2) 農業法人化及び法人への支援
農業法人 21社への情報発信や法人農家

(野菜1戸)に社会保険労務士による雇
用者の労務管理，社会保険等の経営相談会
を開催した。また，新規法人（畜産1戸）へ
の簿記記帳を実施した。



写真3 個別相談会

(3) スマート農業の取組支援

各種事業を活用し，野菜は3件，果樹は
1件，畜産は4件のスマート農業機器導入
後の活用支援を行った。

また，露地野菜におけるスマート農業技
術導入を検討している産地に対して，技術
選択や導入効果試算，スマート農業技術活
用手引書の作成を目標とした「指宿露地野
菜コンソーシアム」に参加し，実証内容に
ついてのフィードバックや助言を行いなが
ら，活動を支援した。



写真4 スマート農業機器実証状況

(4) 意欲ある女性リーダーの育成

市内の女性農業経営士からなるファームコ
ネクト指宿会員を対象に研修会等を通じて，
インボイス制度や労働力確保に係わる情報提
供等を行った。また，会員らと地域の女性農
業者との交流を図ることを目的に『よか余暇
ライフの集い』を開催し，観葉植物ハウスの
現地研修や観葉植物を使ったワークショップ
（約10種類の観葉植物の葉っぱを使った【ス
ワッグ】の作成）をした。

指宿市長応接室にて開催された『市長と語
る会』では，指宿市の農業・農村発展のため
に農産物のPRや新規就農者の受け入れ時
の支援等について積極的に提言した。

さらに，女性農業経営士候補者に，認定
に向けた助言指導を行い，新たに1人が認
定された。



写真5 「観葉植物を使ったワークショップ(ス
ワッグづくり)

(5) 次代を担う青年農業者の育成

課題解決能力向上を目的に，クラブ員毎
にプロジェクト課題を設定し，担当者によ
る支援を行った。また，2年ぶりに先進地
研修を実施し，野菜加工・貯蔵技術や長島
の馬鈴薯栽培について理解を深めた。

地元小学校の3年生を対象に，食農教育
活動支援を行った。



写真6 先進地研修（馬鈴薯農家との意見交換）

4 今後の課題

- (1) 指宿地域の農業を持続的に発展させる
多様な担い手（認定農業者，農業法人等々）
の育成
- (2) スマート農業の導入支援活動
- (3) 農業経営や地域活動に積極的に参画す
る「女性農業経営士」の掘り起こし及び育成
- (4) 課題解決手法を習得し，地域農業の中核
となり得る「青年農業士」の育成

5 担当した普及職員（〇はチーフ）

〇上福元，上赤，山下，水迫，佐藤